

CSAT入試

Chiba Standard Assessment Test

適性検査型入試(千葉)

試験日

11/22
(土)

出願期間：令和7年11月4日(火)～11月18日(火)

試験科目：CSAT I 型 (国語・社会)

CSAT II 型 (算数・理科)

CSAT入試とは

千葉県立中学校（東葛飾中学校・千葉中学校）の適性検査型の入試方法です。千葉市立稲毛国際中等教育学校や千葉大学教育学部附属中学校を志望している生徒も多く受験しています。

試験会場

- ◆取手ウェルネスプラザ
- ◆取手西口駐車場ビル



TSUCHIURA NIHON UNIVERSITY SECONDARY SCHOOL
土浦日本大学中等教育学校

TEL : 029-835-3907 FAX : 029-835-3905

<https://www.tng.ac.jp/sec-sch/>



問題の「質」に自信あり

【例年多くの問題が県立中学校の適性検査と類似】

CSAT入試の問題は、本校の経験と実績から作られた完全オリジナル問題。
県立中学校の適性検査では、過去にも傾向が類似する問題が出題されました。

2 小学校6年生のりりさんが、読書についてお父さんと話をしています。あとの問い(4)の間に答えなさい。

父：りりは、よく本を読んでいるけれど、毎月何冊くらい読んでいるの？

りり：昨年度(平成28年度)読んだ本の冊数を計算してあたら、1か月の平均冊数は8冊だったわ。

父：次の資料1～資料3(次ページ)を見て、平成28年度の小学生(4～6年生)の1か月の平均読書冊数を計算して計算すると、りりの1か月の平均冊数は、小学生(4～6年生)の1か月の平均読書冊数と比べると約 **ア** 割にあたるね。

りり：クラスには本を全く読まない人もいます。

父：本を全く読まない人のことを、資料では「不読者」と呼んでいるよ。

りり：資料から読み取れる割合で、**ア** おお兄ちゃんやんの学年にも不読者がいたとすると、平成28年度の私の小学校(平成28年度の4～6年生の児童数は125名)の不読者数と、お兄ちゃんやんの中学校(平成28年度の全校生徒数は500名)の不読者数との差は **イ** 人ね。

父：他の資料でも、小学生と中学生とを比べてごらん。

りり：1か月の平均読書冊数については、小学生(4～6年生)と中学生との差が最も小さかった年度は、平成 **ウ** 年度だね。

父：そうだね。では、資料3で、高校生と小・中学生との違いを見てみたらどうかな。

りり：「あまり本を読まなかったグループ(8冊と1冊の合計)」と、「多くの本を読んだグループ(3冊以上)」というように分けて、それぞれ男子と女子とを比べてみて。

りり：まずは、あまり本を読まなかったグループの男子と女子とを比べてみると、高校生と小・中学生は、同じようが見られるね。**エ** しく言うと、**ア** ということよ。

父：そうだね。では、多くの本を読んだグループはどうかかな？

りり：同じように比べてみると、**カ** ということがわかるわ。

父：よく読み取れたね。どちらも具体的に書きたね。

資料1 1か月の平均読書冊数の移り変わり

資料2 不読者(本を全く読まない人)の割合の移り変わり

資料3 最近1か月の読んだ本の冊数と性別との関係

(1) **ア** **イ** にあてはまる数を、各資料と資料をふまえてそれぞれ書きなさい。

(2) **ウ** にあてはまる数を書きなさい。

県立中学校試験問題

2018 CSAT I

1 りくさんとまなさんは、総合的な学習の時間の、外国の人たちに日本にきてもらうための工夫について話し合っています。あとの問い(1)～(4)の間に答えなさい。

りく：最近、昔で外国の人たちをよび寄れることが多くなった気がするな。

まな：そうね。実際にここにいる外国人の人数が増えているのかもしれない。

りく：資料1を見てみよう。以前は日本から出る日本人が日本に入国する外国人よりも多かったんだけど、**ア** 年にその数が逆転したんだね。そして、資料2と資料3をもとに計算すると2016年は全体で **イ** 万人もの外国人が日本を訪問したことがわかるね。政府は東京オリンピックの開催2020年には4000万人を目ざして取り組んでいると新聞でも読んだよ。

まな：それはすごいね。どこの地域の外国人が多いのかな。

りく：資料2を見るとアジアから来た人たちが全体の55%もいるんだね。さらにアジアの中では中国から来た人が多いよ。ただ、資料3で2015年から2016年にかけての比率をみてみると、**ウ** が1番多いよ。

資料1 「日本に入国した外国人」

資料2 日本にきた外国人の国・地域別の割合

資料3 日本にきた外国人の国・地域別の人数

国・地域	2015年	2016年	増減率
アジア	499万人	527万人	27.7%
ヨーロッパ	369万人	407万人	32.2%
北アメリカ	252万人	281万人	29.1%
南アメリカ	21万人	20万人	-4.8%
オセアニア	21万人	20万人	-4.8%
中東・アフリカ	21万人	20万人	-4.8%
その他	21万人	20万人	-4.8%
アジア全体	1600万人	2015万人	25.7%

(資料1・資料2 日本統計局「外国人入国統計」(2017年1月版))

2018 CSAT I

(1) **ア** **イ** にあてはまる数をそれぞれ書きなさい。また、**イ** にあてはまる数を、小数第1位を四捨五入して、整数で書きなさい。

(2) **ウ** にあてはまる国や地域はどこか。資料3の「ア」～「エ」のうちから1つ選び、その記号を書きなさい。

まな：外国人の人数が日本にたくさん来て貰うことで日本の経済にも良い影響があるって新聞で読んだんだけど、どくらいの影響があるのかしら。

りく：資料4をもとに。2016年に日本にきた外国人が使った金額は1年間3兆7千億円にもなるよ。2016年に比べて2015年に比べてみると、2016年に比べて1人あたり平均で **カ** 円増えたことになるね。

まな：さっき話した1年間に比べた外国人の人数で比べると、2016年に比べて1人あたり平均で **カ** 円増えたことになるね。

りく：そうだね。ただ、どの国や地域の人数によって増え方が違ってくるよ。

資料4 日本にきた外国人が使った金額の合計(2016年)

資料5 日本にきた外国人の1人あたりの消費で使った金額の内訳(2016年)

(2) **カ** にあてはまる数を、小数第1位を四捨五入して、整数で書きなさい。

本校千葉SAT I型試験問題

昨年度の合格倍率 約1.43倍

【昨年度も多くの受験生が受験しました。】

志願者数:323名(男子167名・女子156名) 合格者数:226名(男子119名・女子107名)

CSAT I 型(国語・社会総合型) } 合計平均点:116.4点 ※ CSAT I・II 合計200点
CSAT II 型(算数・理科総合型) }

特待基準点(昨年度実績)

S種:158点 I種+:151点 I種:142点 II種+:131点

II種:120点 合格+:115点 合格:104点

取手の2会場で実施

【取手ウェルネスプラザ、取手西口駐車場ビル】

いずれもJR常磐線取手駅から徒歩2分。※変更する場合があるので随時HPをご確認ください。
保護者の方対象の説明会も同時開催します。(取手西口駐車場ビル)

